

議会運営委員会行政視察概要

令和7年11月14日（金）

於 国分寺市議会 第三委員会室

午前9時32分～午前10時58分

1 調査概要

「議会施設に設置する設備及びその運用について」

契約管財課 荻野管財係長
議会事務局 高柳総務担当係長

1963年に建設された国分寺市の旧本庁舎は、平成18年の耐震診断により、耐震力不足が判明した。その後、旧本庁舎は平成24年度に解体した。

一方、執務スペースの不足により、庁舎機能の分散化が進み、庁舎機能が5か所に分散されていたため、市民サービスの利便性や業務効率の低下を招いていた。

また、市役所は災害拠点機能の確保が求められているが、本庁舎以外の建物は耐震性はあるものの、老朽化や庁舎分散化による機能面の低下などが大きな制約となっていた。

そのため、市役所の新庁舎建設を基本に準備が進められ、平成31年3月には「国分寺市役所新庁舎建設基本構想」が策定された。

その後、令和2年8月には「国分寺市新庁舎建設基本計画」が策定され、設計施工一体型のプロポーザル入札において業者を選定し、市民の意見を取り入れながら設計を進め、新庁舎が令和6年11月に完成し、令和7年1月6日から供用開始されたところである。

市議会においては、5階建て新庁舎の最上階に議会専用フロアとして配置されている。議場は、設計上は思わなかったそうだが、施工してみると議員側と理事者側との離隔がかなり広がっていたとのこと。また、議場を議会フロアの真ん中に配置し、議員専用フロアから直接議場に入ることができるため、議員動線と市民動線が交錯しないようになっている。委員会室についても、同様に、議員専用フロアから委員会室に入るため、市民と交錯することはない造りになっている。

また、5階には木漏れ日テラスを設置しており、本会議や委員会を開催している

ときに、傍聴される方が増えたというのも、一つの新庁舎以降の特徴と考えられる。
その他、明石市議会から事前に質問した項目の回答については、別紙を参照。

2 主な質疑応答

問 会派人数の変動があった場合の控室の対応について

答 会派人数の変動は想定しており、工事で対応している。金額はそうかからない。また、当市は3人以上を会派と呼んでいるが、2人以下の場合は無会派として、何人かまとまって控室に入ってもらっているようにしている。



問 委員会室等にカメラ等の設備を付けて、配信しているのか。

答 委員会室は3部屋あるが、普段は第一委員会室と第二委員会室の壁は外しており、常任委員会や全体協議会で利用している。また代表者会や議会運営委員会は、この視察会場である第三委員会室で行っている。第一と第二にはカメラを設置しており、録画配信を行っている。

問 市役所1階のエントランス付近で見かけたロボットにどのような効果があるのか。

答 庁舎の管理は業者委託を行っており、警備員のなり手不足の関係から、業者から警備巡回ロボットを使わせてほしいといった提案を承認したものである。ランニングコストは、リースなので年間800万円程度と聞いている。台数は1台のみ。

問 清掃とかはどのようにしているか

答 庁舎管理委託の中に、清掃とか、警備とかがぶら下がる形になっている。

以上